

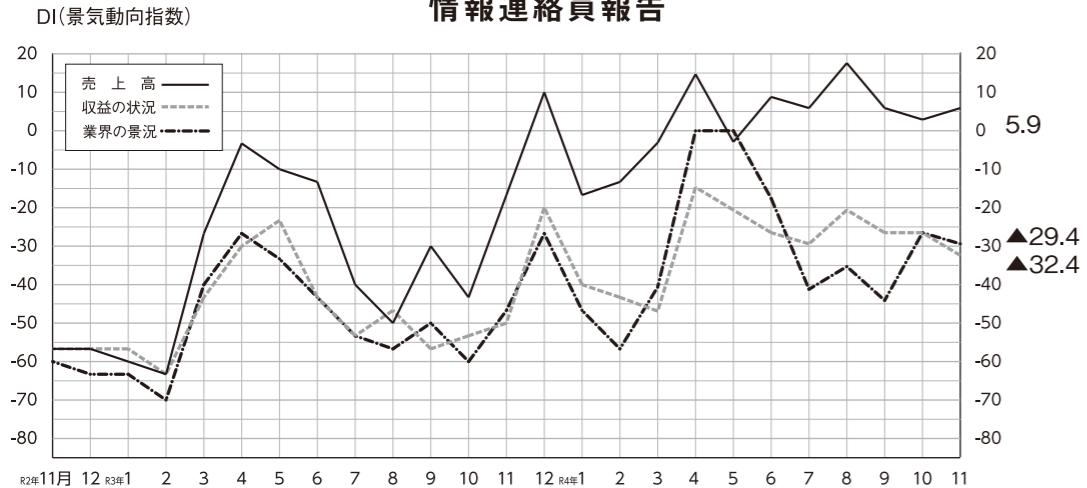


情報連絡員報告を
中心とした

県内各業界別の動向

2022年11月
(前年同月比)

情報連絡員報告



| | | |
|--|--------|--|
| | 旅館・ホテル | 行政各所が実施するキャンペーンにより状況は好転。全国旅行支援が終了する12月20日までの期間において予約客数がコロナ禍前を上回る施設も見られる。インバウンドも徐々に回復。宴会も3年ぶりに忘新年会を実施する企業もあり、少し状態は良くなつた。「第8波の発生」、「各種キャンペーンの終了」等まだ不安定な日常が続く。 |
|--|--------|--|

| | | |
|--|-----------|--|
| | コンクリート製品 | 令和4年11月分は前年同月よりやや好転した。出荷量が増加する時期の影響と今後も期待したい。 |
| | 商店街(四万十市) | 一条大祭は縮小して開催。久しぶりの大きなイベントにたくさんの人で賑わった。飲食店から二次会への流れは未だに感じられない。 |
| | 飲食店 | 前年同月比で景況は好転、例年と比較しても(コロナ禍以前)売り上げは8割程度まで回復したが、光熱費や仕入れ価格が高騰しているため相殺されている感がある。やはり業態により売上に大きな差がある。新型コロナウイルスの影響としては、集客減、売上の低下がみられ、今後、業界(県内事業主)の規模が縮小する可能性もある。 |
| | クリーニング | 人の移動が緩和され需要増につながり、クリーニング料金の改定が一段と進み、売上が増加。コロナ前の水準にはまだまだ達していないが回復基調にある。新型コロナウイルスの影響としては、ワイヤツの大幅需要減。礼服、外出着需要微増だが本格的ではない。今後、リモートが定着し、ワイヤツの需要回復は見込めない。 |

| | | |
|--|---------|---|
| | 食品団地 | 11月度高知県内は観光関連が好調となった。県外向け出荷も増加傾向となり売上高は上昇。エネルギーコストは依然として高値状態が続いている。食品加工用原材料費のコストアップも続いている。 |
| | テントシート | コロナ禍ではあるが、各種イベント開催がされるようになり、イベント関連主力の事業所も活気が戻りつつある。少しずつ回復基調になりつつあるが、まだまだ、厳しい状況。各種原材料の値上げが続いていることと販売価格への転嫁が大変な状況だ。 |
| | 製材 | 荷動きは鈍く、原木価格は下落傾向にあるとの見方が多い。 |
| | 製紙(家庭紙) | 主原料であるPULP価格が、高止まりで推移している中、抄紙機稼働に欠かせないエネルギー(電気・重油)、特に電力料金の大幅値上げが、発表される。厳しい状況が何時まで続くか? |
| | 刃物製造 | 未入荷の付属品も入り、前月発送予定の品が多く発送でき、昨年より売上は上がった。しかしながら、今後もこのように付属品の入荷が遅れ、納品できない状況が出てくる可能性がありそうである。 |
| | 船舶製造 | 生産状況は引き続き高水準。 |
| | 珊瑚装飾品製造 | 昨年の11月同様に製品大会を開催したが、取引額の前年同月比は59%と、依然として低調である。 |
| | 卸団地 | ・仕入商品の値上げがあるものの、十分に転嫁できず、収益が厳しくなる見込み。・トクトククーポンのおかげで、週末の飲食店の売上は大分戻ってきてる様子。ただ、平日の宴会(公や仕事関係)が少ないため、コロナ前の状況とは言えない。新型コロナウイルスの影響で、需要の停滞が続く。従業員の感染による人手不足が起こっている。今後、コロナ資金の借入返済が始まると厳しくなるのでは。 |
| | 青果卸売 | 当月は原価率が高く売上も伸び悩みで売上高も上下はあるものの、ほぼ前年対比で約100%とあまり芳しくはなかった。新型コロナウイルスの影響ではクラスター等のコロナ感染者の増加により忘年会、クリスマス会ほかの宴会も少なく年末にかけて心配である。 |

| | | |
|--|-----------|--|
| | 各種小売(土佐市) | 新型コロナウイルスの感染者数は減って、連休には人の動きがみられたが、小売店にはあまり影響がなく、元気ない状況が続いている。年末にかけて、また感染者数が増えるどうなるのかと不安の声ばかりが聞こえる。 |
| | 中古自動車小売 | 高年式のコンパクトカー、ミニバンの販売が目立って増えている。よって客単価は上昇傾向。タマ不足に加え相場高騰の中の仕入れには苦戦を強いられるが、一定の販売台数は確保できている。 |
| | 商店街(高知市) | 中央公園地下駐車場 売上前年比:100.7%、利用台数前年比:101.2%。今月末に中央公園のイルミネーションや歳末感謝セールがスタートした。歳末商戦を盛り上げたいところだが、コロナの感染者が拡大しており気がかりな状況。 |
| | 旅行業 | 組合クーポン前年同月対比75%、全旅クーポンを加味して198%、11月迄総売り上げ前年対比300%。旅行支援開始2か月が経過し、組合員は対応に多忙を極めている模様。各旅行会社で旅行支援割引分の立替金が膨らみ、資金繰りに厳しい会員もいる様子である。旅行支援の事務作業が煩雑すぎて対応に苦慮している。 |
| | IT事業 | 昨年問い合わせも多く増加していた案件がここ2~3ヶ月は落ち着いている。しかしながら需要と供給のバランスがよいとは言えず、人材確保が難しい状況が続いている。今後は、新型コロナウイルスに限らず、補正予算を活用した問い合わせは増えるものと思われる。 |

| | | |
|--|-----------|--|
| | 酒類製造 | 値上げ前仮需の影響と、やはり宴会の自粛か。(景況はやや悪化) |
| | 木製品素材生産 | 丸太価格は全体的に値下がりが続いている。特にヒノキについては値下がりが大きい。また、長級(3m材・4m材)によって需要に差があり、特にスギ丸太の採材は4mが主体となってきている。入荷量は、前月と変わりない状況であり販売量は確保できているが、製材所では在庫がでてきている状況。新型コロナウイルスの影響は、増加傾向にあり、現状木材価格への影響は少ないと思われるが、先行きはわからない。 |
| | 建具 | 公共工事、店舗関係の仕事が少ない。例年の12月より静か。組合員にも新型コロナウイルスの感染者が出ており、今後は現場が止まるようになるかもしれない。 |
| | 製紙(手すき和紙) | まだまだコロナ禍や原材料の高騰・円安に伴い、厳しい状況。一向に良くならない(売り上げの伸びが鈍い)状態が続いている。新型コロナウイルス・原材料高騰・円安といつまで続くのか見当もつかない。 |
| | 印刷 | 売上については微増、設備操業度は同等。県内需要及び県外需要とも需要業種によって好不調が見受けられる。コロナ前との比較では操業度は若干であるが回復傾向も見られる。 |
| | 生コンクリート製造 | 11月単月の出荷数量は、対前年比74.9%、4月からの累計出荷量は80.7%で地区的には前月同様に高幡地区を除き全県下で減少傾向が続いている。生コン価格は、原材料価格の再度の値上げ要請に伴い、令和5年1月1日以降の契約分より価格改定を予定している。 |
| | 機械団地 | 団地内の業況は横ばいから下降ぎみの推移となっている。各社とも原材料費や燃料費の価格高騰が喫緊の課題となっている。 |
| | 生鮮魚介卸売 | 売上については前年度より上昇しているが、先行きが不安定。カツオ、マグロ類の入荷が少なくなった。新型コロナウイルスの影響はこれからありそう。 |
| | 電気機械器具小売 | 11月は全商品平均で96.4%。エアコン高機能タイプ102.6%、大画面テレビ91.8%、白物家電94%。 |
| | ガソリンスタンド | ロシアのウクライナ侵攻も継続しているが、原油相場は中国の景気減速や円高傾向に向かっていることから下落をみせているが、下落分を政府が補助金を縮小(11月末25.7円)することにより仕切り・市況価格への大きな変動はない。新型コロナウイルスが再び感染拡大し始めておりガソリン販売数量の落ち込みが懸念される。 |
| | 商店街(安芸市) | 国の補助金事業「がんばろう商店街」へ申請。来年の1月に商店街でスタンプラリーと軽トラマルシェのイベントを計画中。 |
| | 一般土木建築工事 | 令和4年11月分の公共土木用生コン出荷量は、前月比108.3%、前年同月比74.9%。令和4年4月から令和4年11月累計においては前年累計対比80.7%。11月の工事請負金額は前年当月比で145.4%、前年対比累計金額では87.7%。令和4年11月末時点の前年対比累計請負金額は、国:83.9%、高知県:同累計73.2%、市町村:同累計98.2%となっている。生コン出荷量、工事請負金額共に累計では落ち込んでいるが、災害復旧工事、防災・減災対策工事、高速道路の延伸工事などの大型工事は継続している。生コンクリート単価については、引き続き値上げ交渉を行うことと共に販売率上昇に向けた取り組みを当組合としてもできることを行っていく。共販率の引き上げに苦慮している。来年早々予定(1月1日契約分以降)の生コンクリート価格引き上げについては、高知市内はようやく足並みがそろった感がある。その他の地区については、引き上げに理解を得ている。 |
| | 電気工事 | 組合員の施工する電力引込線工事量は、前年同月比66.3%となった。高知中央地区39.2%減、香長地区が49.5%減と大幅に減少した。 |
| | 一般貨物自動車運送 | 軽油価格は若干の下げとなったが、円安状態は解消されておらず、12月の繁忙期も不安定な状態が続くとみられている。荷動きも昨年と比べても良い状況ではないとは言えず、経費高により収益は悪化している。新型コロナウイルスの影響で荷動きが悪く売上が伸びない。荷動きが戻らなければ収益が落ち、経営を圧迫する。 |

| | | |
|--|------|--|
| | タクシー | 実働1日1車当たりの前年同月比営業収入:111.8%、輸送回数:103.7%、実働率は52.3%。全国旅行支援の影響で観光客等がかなり増加し、街中は賑わっているが、タクシーの需要はほとんど無いらしく、自家用車、レンタカーで移動している。例え需要が増えたとしても運転者不足で稼働できない。新型コロナウイルスの影響では、高齢の運転者が多く、コロナを恐れて長期休暇をとる者、辞める者があり、運転者不足を加速させている。 |
|--|------|--|